福井城址の特徴、他県の城址活用事例、これまでの提言等・・・

- ①福井城址の特徴
 - ・福井城址周辺の都市機能
 - ・福井城址および周辺の状況
 - ・福井城址の法指定状況等
 - ・福井城の歴史
 - ・福井城址および周辺の整備状況
 - ・福井城址および周辺の活用状況
- ②関連計画における福井城址活用の方向性
- ③他県の城址活用事例
- ④これまでの提言等
 - ・団体からの提言、要望
 - ・県民等の提案

1福井城址の特徴 (福井城址周辺の都市機能)

グリフィス記念館

福井藩御雇外国人グリフィスの居 館で明治6年(1873年) に焼失した

ものを平成27年 (2015年) に外観 復元。

グリフィスに関す る資料を展示。



九十九橋

江戸時代に福井城下足羽川に唯一架 かっていた半石半木の奇橋。

明治から昭和にかけ ての三度にわたる架 け替えで昭和61年 (1986年) に現在の 橋となった。



愛宕坂

天正4年(1576年) に柴田勝家が愛宕 坂大権現社を足羽山に移したことに 伴い整備。

平成8年より再整備。 笏谷石の階段が独特 の風情を醸し出して

いる。





市企業局

中央公康

福州神社

オフィス街

フィス記念館

料亭街 是羽川

西武百貨店

商業街

北の庄城址

由利公正広場 柴田公園

100m

JR福井駅

養浩館庭園

200m

300m

福井城の復元模型、 松平家に関する資 料を展示。

国指定名勝養浩館庭園

福井市立郷土歴史博物館

平成16年に移転。縄文時代から

昭和時代までの福井の歴史につ

福井藩主松平家の別邸。

いての展示があり、

昭和20年の空襲で 建物は焼失したが、 庭園は残っており 平成5年に建物部 が復元。



北の庄城址柴田公園

柴田勝家により築城された北の 庄城の跡地。明治23年に旧藩主 松平春嶽公らの発意により神社 が告られる。

現在、柴田公園 内には柴田神社 芝生公園、北の 庄城址資料館な どがある。



由利公正広場

平成26年に整備。 まちなか歴史散策の立ち寄り先

として整備。

福井藩が誇る偉 人由利公正の銅 像や案内サイン などを設置して いる。





①福井城址の特徴(福井城址および周辺の状況1)



天守の礎石が残るほか、 小天守台も残っている



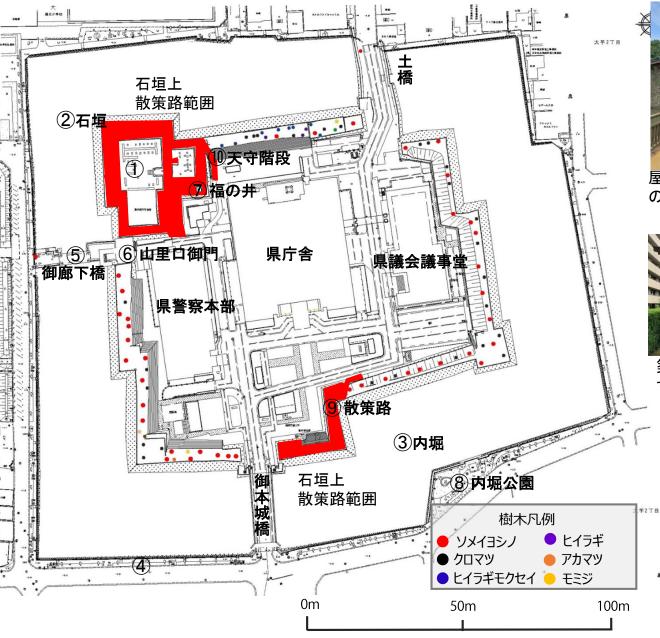
笏谷石の切石を使用した 高石垣



約30mの幅がある



舗装を周辺の景観に調和 した色合いに変更





屋根付きの城主専用 の橋 (H20復元)



築城時から本丸に存在 する井戸 (H29復元)



城南東側の石垣上を 散策できる道(H18整備)



本丸西側を守る門で、2つの門と石垣で形成された枡 形門(H30復元)



横井小楠と由利公正の銅像 や城址に関する説明板など がある広場(H9整備)



元の階段が急峻なため 設置(H20整備)

①福井城址の特徴(福井城址および周辺の状況2)

1



平成30年の中央公園の再整備の中で、建設。 休憩所、展示スペース、トイレなどの機能がある。

2



平成30年に整備。かつての堀を再現した掘割広場や 芝や石によるかつての御座所の位置等を表示している。



①福井城址の特徴(福井城址および周辺の状況3)

本丸内に県庁が立地する事例⇒前橋城 (群馬県庁)



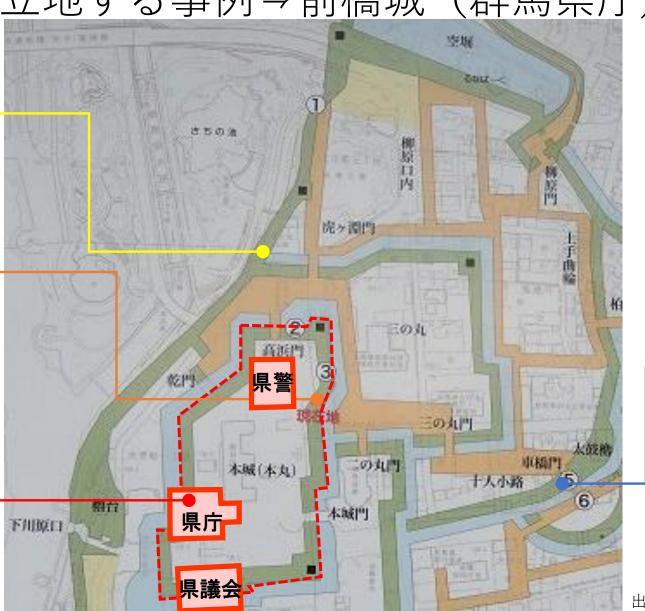
公園内にある土塁で、上部 を歩くことができる遺構の



県庁や県警周辺の土塁で前 橋城の数少ない遺構の一つ。



明治初期以降、位置は変わらず、新旧の建物が入り混じる。





かつて門を構成していた石垣 が残っている。

出典:再築前橋城復元図(前橋市)

①福井城址の特徴(福井城址の法指定状況等)

〇 法指定状況

- ・都市計画(建蔽率、容積率、風致地区等)、都市公園、景観計画、埋蔵文化財の指定あり
- ・文化財保護法に基づく、文化財の指定なし

〇続日本100名城(平成29年3月31日選定 ~ (公財)日本城郭協会~)

〔見どころ(続日本100名城公式ガイドブック)〕 広大な城域に残るものは本丸周辺のみながら、まず満々と水を湛える堀が城の風景として見事である。さらに、青緑色が実に美しい笏谷石で築かれた壮大な高石垣と天守台は圧巻である。

〇日本遺産(令和元年5月20日認定)

400年の歴史の扉を開ける旅 ~石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井~

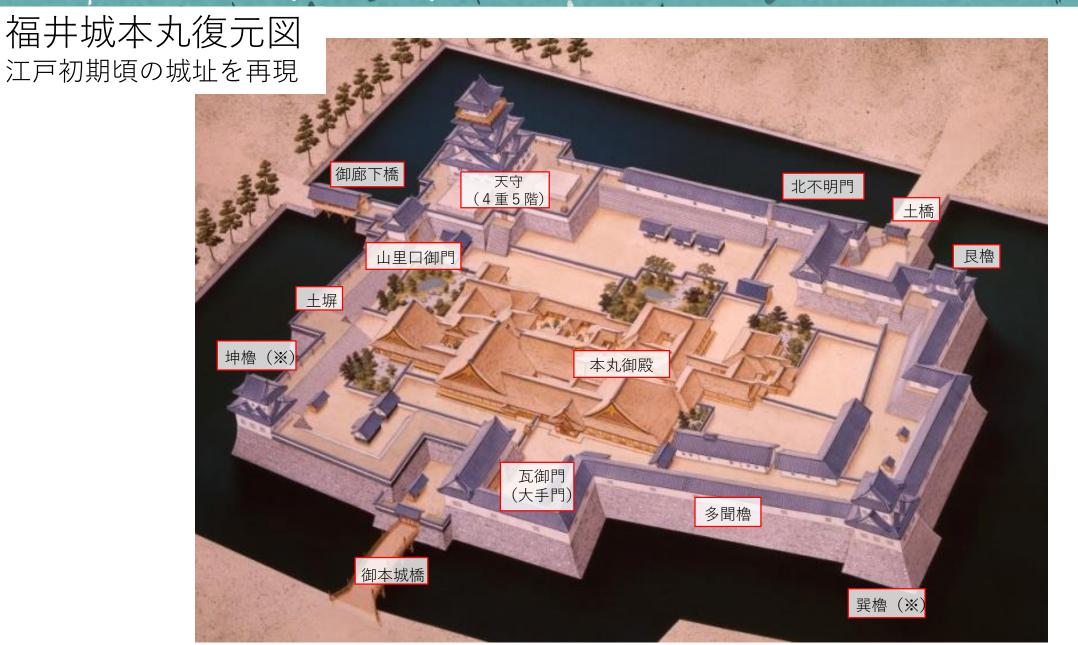
- ・中世から近世にかけての様々な石を用いた都市や庭園等、 石との共生の歴史や石づくり文化が評価され日本遺産に選出。
- ・一乗谷や平泉寺、北の庄城や福井城、養浩館庭園などが 構成文化財となっている。
- ・日本遺産認定を活用した取組みとして、今後、展示会、講演会、イベントなどが計画されている。



出典:福井・勝山石がたり公式サイト (福井・勝山日本遺産活用推進協議会)



①福井城址の特徴(福井城の歴史2)



※坤櫓、巽櫓は 当初2階建て、 天守焼失後は3 階建て

出典:福井城本丸復元図(福井工業大学名誉教授吉田純一作成)

①福井城址の特徴(福井城の歴史3)

垣土城	本丸の歴史
丁田 フェッス	

作用开现。本外UTE实						
元号	安土桃山時代 (1573年~ 1603年)	江戸時代 (1603年~1868年)	明治時代 (1868年~1912年)	大正時代 (1912年~ 1926年)	昭和時代 (1926年~1989年)	平成時代 (1989年~ 2019年)
	1 1 6 6 0 0 0 1 年 年	1 1 1 6 6 6 0 6 7 6 9 3 年 年年	1 1 1 1 1 1 1 8 8 8 8 8 8 8 7 7 7 7 8 9 9 1 3 7 9 1 0 3 年年年 年年年	1 1 1 9 9 9 1 2 2 9 1 2 年年年	1 1 1 1 1 1 9 9 9 9 9 9 4 4 5 6 8 8 5 8 9 6 1 8 年年 年 年 年	2 222 0 000 0 111 8 789 年 年年年
出来事	福井藩成立福井城築城開始	人守等焼失 でに と ない は ない ら 3 階 建 て に	廃藩置県が行われ、福井藩が解体される 「福井城取り壊し 旧藩士が城内を借り受け、開墾を開始 旧藩主松平茂昭が土地を買い戻す といいでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	松平氏から県に本丸跡地を無償譲渡が決定「松平試農場」が県庁移転に伴い、移転・本丸内に県庁・県議会移転・	福井空襲福井地震発生し、石垣一部崩壊県議会建替え県議会建替え県議会建替え県際建替え	御廊下橋復元福の井復元山里口御門復元が日本100名城に選定
		│ < 福井城	—> ← 松 [∑]	───────────	福井県	
		271年		28年	98年紹	過

○県都デザイン戦略(H25.3策定)

「目標年次:福井国体(H30年)〔短期〕」

県民会館跡地周辺を活かし、城址と中央公園の一体性を高める公園整備を行う。

石垣の遺構を公園デザインに活かし、歴史が感じられ、緑の多い開放的な公園を整備する。 また、これまで整備してきた天守台跡や御廊下橋との連続性を活かして、その導線上にある 山里口御門を復元整備する。



①福井城址の特徴(福井城址および周辺の整備状況2)



①福井城址の特徴(福井城址および周辺の活用状況)

〔福井城址を活用したイベント〕



講演会(山里口御門)



音楽会 (天守台)



アプリツアー開催



ワンパークフェスティバル



福井フェニックス祭り



ふくい桜満喫フェスティバル

②関連計画における福井城址活用の方向性1

福井市都市計画マスタープラン(H22.3策定)

〔分野別構想〕

- 3. 歴史のみえるまちづくり
- i)基本的な考え方 地域の歴史や文化を物語る貴重な歴史資産や神社仏閣、伝統的な家屋などは福井らしい都市づくりの資源 を言えます。子どもから高齢者まで、<u>すべての市民が郷土の歴史を学び、まちに対する愛着と誇りを高める</u> よう、このような資源を活用し、身近に歴史とふれあえる都市づくりを推進します。
- ii) 整備・活用の方針
 - ○にぎわい交流拠点における歴史のみえるまちづくりの推進
 - ・福井藩主松平家の別邸であった<u>名勝養浩館庭園</u>、本丸の石垣と内堀が良好に遺存する<u>福井城址</u>、柴田勝家の北の庄城の故地といわれる<u>柴田神社(北の庄城址)</u>、多くの古墳や神社仏閣がある足羽山など、<u>福井城下の歴史資源の保全と積極的な活用と、これらの周辺環境や歴史資源を結ぶルートの整備・維持管理に取り組み、市民や来訪者が気軽に歴史に親しむことができる環境を創出します。</u>

②関連計画における福井城址活用の方向性2

県都デザイン戦略(H25.3策定)

◇「福井城址公園」の整備(目標年次:2050年〔長期〕)

中央公園およびその周辺エリアに範囲を拡大した<u>「福井城址公園」を整備</u>する。 歴史を偲ぶ空間(御門、櫓、天守閣等の 復元、御座所の遺構活用等)、憩いの空間 (豊かな緑と開放的で明るい空間整備等)、 活動・文化の空間(芸術・文化の拠点の配 置等)の3つの機能を持った、歴史を象徴 し、人が集まる中心となる公園とする。

県庁舎、市庁舎を移転・再配置し、城址、



(福井城址公園想定エリア)

②関連計画における福井城址活用の方向性3

福井市景観計画〔福井都心地区特定景観計画区域(福井城址公園ゾーン)〕(H20.3策定(H31.1改訂))

○景観形成の目標

「福井らしさを実感できる風格あるシンボル景観の創生」

・福井城下町の中心であった<u>福井城址(本丸跡)の歴史的環境を保全・復元</u>し、都市空間における歴史の核として、<u>風格ある城址景観を形成</u>します。

○景観形成の方針

「福井城址を核とした、歴史を象徴し、人が集まる空間の形成」

・<u>城址内、中央公園、県民会館跡地およびその周辺を公園として整備</u>し、中央公園内における石垣等の遺構 を活用した広場の整備、<u>城址内における御門櫓等の復元、文化拠点の形成など、歴史を象徴し、新しい文化</u> を創造し、人が集まる緑豊かな空間を形成します。

福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン (H28.3策定)

福井駅・城址周辺地区市街地総合再生計画(H30.1策定)

○エリア別のまちづくりの方向性(整備方針)(福井城址公園エリア)

「豊かな緑、歴史、憩いの空間を核としたエリア」

- ・歴史を核とした風格ある城址景観を形成する
- ・<u>水と緑に満ちた空間形成</u>により、まちなかのうるおいを強化する

③他県の城址活用事例1 (金沢城 日本100名城)

所在地 金沢城 (石川県金沢市)

指定状況

都市公園(金沢城公園)

国指定史跡

重要文化財(三十間長屋、石川門、鶴丸倉庫)

利用状況

[本丸]

なし

[二の丸など]

三十間長屋・石川門・鶴丸倉庫(重文)、菱櫓・五 十間長屋・橋爪一ノ門・橋爪二ノ門・続櫓・河北 門・鼠多聞(復元)、鶴の丸休憩館、庭園、総合案 内所、茶屋2軒

概況

江戸時代を通して加賀前田家が支配していた。明治以降は陸軍の拠点、戦後は金沢大学のキャンパスとなる。

1996年(平成8年)から石川県が土地を取得後、

櫓・門等城址の建物を多く復元し、2020年(令和2

年)には鼠多門及び鼠多門橋が竣工している。





三十間長屋



鼠多門 · 鼠多門橋

出典:石川県ホームページ

③他県の城址活用事例2 (鹿児島城・日本100名城)

所在地 鹿児島城 (鹿児島県鹿児島市)

指定状況

都市公園 (城山公園) 国指定史跡、県指定史跡

利用状況

[本丸]

県歴史資料センター黎明館 御楼門(復元)

[二の丸など]

県立図書館

概況

別名鶴丸城。江戸時代を通じて島津氏が支配。1874 年(明治7年)に焼失したのちは鹿児島県立大や鹿児島大 学の医学部として使用された。現在は県歴史資料センター 黎明館をはじめとする公共施設が多く立地している。

2020年(令和2年)4月に日本最大の門、御楼門が 民間主導で復元された。なお、御楼門の復元にあたって、 建設費の約半分以上、民間単独の寄付により集めている。



黎明館 多聞櫓 御楼門 復元予定 (復元済み) 出典:鶴丸城マップ (鹿児島県)



御楼門

黎明館 出典:鹿児島県ホームページ 出典:かごしま文化情報センター17

③他県の城址活用事例3(富山城 続日本100名城)

所在地 富山城(富山県富山市) **指定状況**

国登録有形文化財 (富山市郷土博物館)

利用状況

[本丸]

堀千歳御門(移築)、富山市郷土博物館(模擬天守、 国登録有形文化財)、佐藤記念美術館、富山市まち なか観光案内所、本丸亭・碌々亭(ともに茶室)

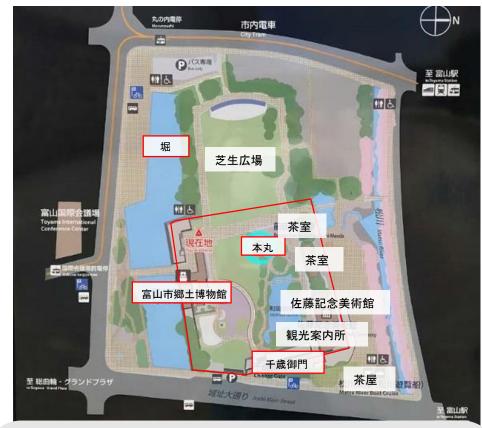
[二の丸など]

茶屋、公園

概況

明治時代には旧本丸御殿を県庁舎として使用していた。 1954年(昭和29年)に産業大博覧会を機に模擬天守 が建てられ、後富山市郷土博物館に転用され、戦国~江戸 時代の富山城に関する絵図や模型が展示されている。また 同敷地内の佐藤記念美術館には絵画・陶磁器等の東洋古美 術作品を展示。

本丸の芝生広場では民間活力導入のトライアルサウン ディングが実施され、熱気球係留体験やツリークライミン グ、イルミネーションなどのピクニックイベントに活用。





市郷土博物館

佐藤記念美術館

出典:富山県観光公式サイト

③他県の城址活用事例4 (駿府城 日本100名城)

所在地 駿府城(静岡県静岡市)

指定状況

都市公園 (駿府城公園)

利用状況

〔本丸〕 広場

[二の丸など]

坤櫓・巽櫓・東御門(ともに復元)、茶室、紅葉山庭園、発掘情報館きゃっしる、 幼稚園、小学校、中学校3校、高校、静岡市中央体育館、静岡市民文化会館、地方裁判所、 静岡税務署、病院、静岡県庁、県警本部など



出典:駿府城公園公式サイト

出典:駿府城園内マップ (さきがけミュージア) (

概況

平成以降に2つの櫓(資料館として公開)と門が復元されている。また駿府城の持つ歴史的背景を活かし、駿河の国の名勝を織り込んだ4つの庭から成る紅葉山庭園を平成13年に整備した。

また、本丸御殿の跡地は広場として整備されている。





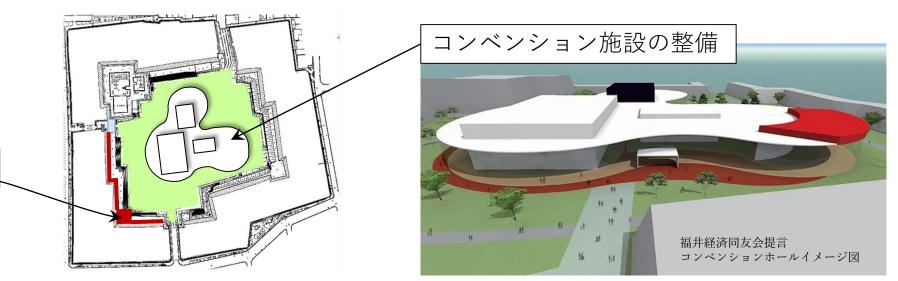
坤櫓

紅葉山庭園

出典:駿府城公園公式サイト

④これまでの提言等(団体からの提言、要望)

提言・要望団体	年月日	提言・提案内容
福井商工会議所	令和 2 年 5 月	県庁舎を移転、再配置し、福井城址を櫓の復元により、落ち着いた城址公園として整備。県議会議事堂はリノベーションし、美術館やミニコンサートホール、劇場など文化施設として再利用
福井経済同友会	令和2年1月	県庁舎を移転させ、福井城址にアリーナタイプの コンベンションホールを整備
福井城の復元をすすめる会	令和元年6月	福井城址公園として景観的に重要な坤櫓と、そこから山里口御門に向かって伸びる土塀を復元



坤櫓・土塀の復元

④これまでの提言等(県民等の提案①)

県民による福井城址活用案

福井新聞読者による2050年空想アクションin福井城址公園(R元年7月にワークショップを実施)

令和元年8月28日 福井新聞



④これまでの提言等(県民等の提案②)

福井県立大学特別企画講座での討論

テーマ:『市民が考える福井城址の風景イメージ』

~世代を越えて受け継がれるふるさと風景の再生をみんなで考えよう~

	日時	議題
第1回	令和2年 2月 1日(土)	・城下町福井の成り立ちと移り変わり ・城址空間を活かした全国各地の事例
第2回	令和2年 2月 8日(土)	・これまでの福井市の計画に見る中心市街地のイメージ紹介 ・ランドスケープの視点ほか 中心市街地への期待と課題
第3回	令和2年 2月15日(土)	・ランドスケープの視点で描いた福井市中心市街地風景デザインの提案 ・総合討論 ―みんなで描こう、城址風景デザイン―

(主宰:福井ランドスケープ研究会、コーディネーター:福井県立大学 進士学長)

<受講者の主な意見>

- ・パークPFIの手法などで、インバウンド需要を見込んだ石垣登りなどのキラーコンテンツをつくってはどうか。
- ・福井城には仙台城の伊達政宗のような人を呼べるコンテンツがないので、まずはコンテンツの掘り起こしが必要だ。
- ・歴史のみちが整備されていないのが問題。何よりも優先して整備して欲しい。
- ・内堀と石垣をきれいにすれば福井城址は日本一になる。行きたいと思う城をつくって欲しい。

④これまでの提言等(県民等の提案③)

まちの活性化・都市デザイン競技について

(公財) 都市づくりパブリックデザインセンター (URBAN DESIGN CENTER) 主催

【概要】

地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の 関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与する。

第16回(平成25年度)は福井市の「福井城址周辺地区」(約34ha)を対象に実施され、全国から31作品の応募があり、審査により下記の6作品が入賞。

賞	タイトル	受賞者	城址活用方法
国土交通大臣賞	「福井まちづくり啓発録」 -育むまち うららのまち-	大成建設株式会社(7名)	天守、本丸御殿、 櫓等復元、議事堂ホール
まちづくり月間全国的行事 実行委員会会長賞	「城址公園都市」	東京理科大学理工学部 建築学科(12名)	本丸ボタニカルガーデン、 堀床、船着き場
(財)都市づくりパブリック デザインセンター理事長賞	「わらんベ小径」 -小径がつなぐこどものあそび場-	清水建設株式会社(2名)	御門復元、「ほんまる広 場」整備
奨励賞	「あったまりの種」	東京大学大学院工学系研究 科社会基盤学専攻(5名)	多目的ホール、保育園、 高齢者施設、食堂
奨励賞	「かこみち」	法政大学デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 (6名)	天守、本丸御殿の復元、 菜園
福井市長特別賞	「歴史の舞台と四季の彩道」- 新たな城下町をつくる-	戸田建設株式会社 建築設計統轄部(6名)	天守、門、櫓、歴史博物館川館、 休憩所、ビジターセンター

